

【招待講演】

サービストライアルにおけるプライバシー意識の調査と分析： アカウント管理方法が与える影響

菅沼 弥生¹

概要：サービストライアルは、ユーザがサービスの内容と提供するプライバシー情報の関係を正しく理解することを助け、プライバシー情報提供への合意形成を支援する。一方で、ユーザが抱くプライバシー情報提供への懸念がサービストライアル利用の障害となることがある。本研究では、サービス提供者とユーザとのより良い合意形成を支援するサービストライアルを設計するために、サービストライアルにおけるプライバシー意識の調査と分析を行った。調査では、まずサービス提供者がユーザから提供された個人情報を含むアカウント関連情報を保持する方法（アカウント管理方法）を正確性と永続性の要素から構成される4モデルに分類した。これに基づきクラウドソーシングを用いた質問紙調査を行い、調査結果の分析を通じて提供するアカウント情報の正確性と永続性が、プライバシー情報開示やサービストライアル利用開始の判断に与える影響を明らかにした。

¹ 静岡大学大学院総合科学技術研究科, 静岡県浜松市中区城北3丁目5-1, Shizuoka University, 3-5-1 Jo-hoku, Naka-ku, Hamamatsu, Shizuoka, Japan